

浜名湖花博20周年記念事業 基本構想概要

<ポストコロナ時代 国家戦略>
 ガーデンシティ
「デジタル田園都市」
 【田園都市国家構想】
 都市に田園のゆとりを、田園に都市の活力をもたらし、両者の活発で安定した交流を促し、地域社会と世界を結ぶ、自由で、平和な、開かれた「田園都市国家」を目指す。

- 静岡県が目指す
 ふじのくに ガーデンシティ
デジタル田園都市
- デジタルの実装を通じて、地方都市の個性を生かしながら、生活の質や生産性を向上させることで、地域社会と世界を結び、自由で開かれた「ポスト東京時代」の未来都市を創造する。
- I 「地域循環共生圏」の形成
 - ガストロノミー・ツーリズムの推進
 - 水産資源の回復
 - 農福連携の推進
 - II 富をつくる産業の展開
 - スマート農業の推進
 - 次世代自動車開発の推進
 - カーボンニュートラルの推進
 - III 魅力ある暮らしの実現
 - DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進
 - 食と花の都づくり
 - IV 地域の魅力向上と発信
 - サイクルスポーツの聖地づくり
 - 自然公園等の適切な管理
 - V 多彩な交流の拡大
 - ガーデンツーリズムの推進

開催意義
 <ポストコロナ時代 本県の戦略>
 ガーデンシティ
「デジタル田園都市」の実現
 ~技術、サービスの実証モデル~



[浜名湖花博20周年記念事業]テーマ
「人・自然・テクノロジーの架け橋」
 ガーデンシティ
 ~レイクハマナ デジタル田園都市~
 花・緑にあふれた環境と先端技術との融合による
「心豊かな暮らし (Well-being)」
「持続可能な環境・社会・経済 (Sustainability)」
「地域発の産業革新 (Innovation)」
 を体感できる実験場

- 目指す方向性
- 環境と調和し、持続可能な社会を前提とした新たな暮らしの創造
- I 心豊かな暮らし (Well-being)
 - 環境と調和の取れた景観(浜名湖、Horticulture)
 - 新たなツーリズムのネットワーク拠点化(ガストロノミー、ガーデニング、サイクリング)
 - ワーケーション
 - II 持続可能な環境・社会・経済 (Sustainability)
 - 持続可能な公園づくり
 - 生物多様性の保全
 - ゼロエミッションの実現
 - III 地域発の産業革新 (Innovation)
 - 公園のスマート化
 - 農業のスマート化
 - スマートモビリティの導入
 - バーチャルガーデンパークの先導モデル化

主催：浜名湖花博20周年記念事業実行委員会
 ・構成員 会長1名、副会長2名、委員32名、監事2名
 ・会長 静岡県知事 副会長 浜松市長、湖西市長

<浜名湖周辺の地域資源>
 ・美しい自然(浜名湖) ・豊かな食料
 ・歴史に培われた文化 ・ゆとりのある暮らし空間
 ・活力ある産業